

レポート講座 2013「タイプ別レポート攻略法！」

第1回「(ほぼ)すべてのレポートは3つのタイプで攻略できる！」

10/21月(井上)・10/22(上岡)

- ・レポートとはどのような文章か？
- ・求められる「作業のタイプ」と「評価ポイント」
- ・自分が取り組む課題の「作業のタイプ」を見極める！
- ・レポート作成の基本ルール——引用と出典

第2回「要点をまとめるタイプ “～の特徴を説明しなさい”」

11/18月(井上)・11/19火(上岡)

- ・レポート作成における適切な情報源とは？
- ・文章を読んで、論点を抽出・整理する
- ・視点を定めて、集めた情報を再構成する
- ・適切な引用方法と参考文献の書き方(1)

第3回「根拠をあげて主張するタイプ “～についてあなたの意見を述べなさい”」

12/2月(井上)・12/3火(上岡)

- ・意見を述べるときは、必ず根拠を示そう！
- ・根拠として使える情報源にはどのようなものがあるか？
- ・「AだからB、よってC」——根拠と意見を論理的につなぐ
- ・適切な引用方法と参考文献の書き方(2)

第4回「異なる意見を検討するタイプ “～について論じなさい”」

12/16月(井上)・12/17火(上岡)

- ・意見を述べるときには、異なる意見の可能性も検討しよう！
- ・複数の意見を比較検討することで、自説の説得力が増す
- ・3タイプの合わせ技でレポート課題を攻略しよう
- ・適切な引用方法と参考文献の書き方(3)

第1回「(ほぼ) すべてのレポートは3つのタイプで攻略できる！」

10/21月(井上)・10/22(上岡)

- ・レポートとはどのような文章か？
- ・レポート作成の基本ルール——引用と出典
- ・求められる「作業のタイプ」と「評価ポイント」
- ・自分が取り組む課題の「作業のタイプ」を見極める！

【1・1】どのようなことをやるか

・「特徴をまとめよ」「意見を述べよ」「是非を論ぜよ」…。大学のレポート課題では、よくこうした指示語(～せよ)が出てくるが、その違いをきちんと理解しないまま何となく書いてくる人が多い。

・「せっかく頑張って書いたのに、評価が低いのはなぜか？」と疑問に思うことがあるかもしれない。その場合、出題者の意図(指示語の意味)をつかみ損なっていることが多い。例えば、「～についてあなたの意見を述べよ」と指示されているのに、漠然とした感想しか書かれていないとか、どこの部分が「あなたの意見」かが不明確であるなど。

・この講座の第1の目的は、レポート課題でよく使われる指示語(～せよ)を、具体的な3つの「作業タイプ」(何をするか)に落とし込み、それぞれの「評価ポイント」(どこまで要求されているか)を理解することである。

・それと並ぶ第2の目的は、レポート作成の「基本ルール」(引用と出典)を身につけることである。他人の文章を適切に用い(引用)、情報の出所(出典)を明示することは、どの「作業タイプ」にも共通して求められる。

・全4回。第1回では、3つの「作業タイプ」の違いを理解する。実際のレポート課題文にあてはめて、「作業タイプ」の組み合わせ方を確認する(判別できるようにする)。第2回から第4回までは、それぞれの「作業タイプ」の内容を深め、それに対応した「評価ポイント」を理解する。良いレポートと悪いレポートの違いを理解する。悪いレポートの問題点を指摘して改善策を考える。

・毎回3～4人でグループを作り、グループワークをおこなう。

【1・2】何ができるようになるか

- ① レポート作成に求められる「作業タイプ」の違いを理解して、具体的な課題がどれに該当する(どれとどれを組み合わせる)のかを判別することができる。
- ② 「作業タイプ」別の「評価ポイント」を理解して、具体的な課題にアプローチするための見取り図(完成形とそれに至る作業手順)を描くことができる。
- ③ 良いレポートと悪いレポートはどこが違うのかを理解して、実際の例を題材として、問題点を指摘し、改善策を考えることができる。

【1・3】レポートとはどのような文章か？

①レポートと感想文の違い

学術的な文章の要件：

- ・「問い」がある …問題設定
- ・「問い」に対する「答え」がある …結論、主張
- ・「答え」を導くための「論証」がある
 - …「論証」には根拠がある。根拠は信頼できる情報源に基づく。
 - …根拠と「答え」をつなぐ論理がある。
- ・「引用」を適切におこなう
 - …他人の文章を適切に用いる。
 - …コピー（盗用＝パクリ）との違い。
- ・「出典」を明示する
 - …情報源を示し、読者（第三者）が検証できるようにしておく。
 - …出典は情報の真実性を保証しないが、出典なき情報は信頼できない。

②レポートと論文の違い

- ・どちらも学術的な文章であるが、
 - 論文では、はじめの「問い」から、すべて自分で考える
 - レポートでは、「問い」が与えられ、やるべき作業が指示される
- ↓
- 「やるべき作業」には幾つかのパターンがある（→後述する「作業のタイプ」）

【1・4】レポート作成の基本ルール——引用と出典

①引用の方法

- ・引用とは、他人の文章を適切に用いることである。
- ・引用には、2通りの方法がある。
 - 元の文章をそのまま用いる（直接引用）
 - 自分の言葉で表現しなおす（間接引用）

（参考資料）『大学でどう学ぶか』帝京大学総合教育センター、2013年

②出典の記載方法（和書の場合）

- ・記載すべき文献の情報（書誌）は、おおよそ決まっている。
- ・ただしその記載の仕方は、分野などにより異なる。
- ・図書の場合

著者名、『書名』、出版社、刊行年

（例1）戸田山和久『論文の教室：レポートから卒論まで』日本放送出版協会、2009年

（例2）戸田山和久（2009）『論文の教室：レポートから卒論まで』日本放送出版協会

・雑誌記事の場合

著者名、「論文名」、『雑誌名』、巻・号、刊行年、はじめとおわりのページ

(例1) 松下均「福澤諭吉とビブリオテーキ」『帝京大学総合教育センター論集』vol.4, 2012年, 33-51頁.

(例2) 松下均(2012)「福澤諭吉とビブリオテーキ」『帝京大学総合教育センター論集』vol.4 2012 pp.33-51.

③ウェブサイトの場合

著者名、「文書名」、URL(閲覧した日付)

(例) 内閣府「平成20年版国民生活白書：消費者市民社会への展望—ゆとりと成熟した社会構築に向けて—」、http://www5.cao.go.jp/seikatsu/whitepaper/h20/01_honpen/index.html (閲覧日2013年10月21日)

【1・5】レポート課題文の実例——過去の出題例を題材に

・レポート課題に取り組むうえでの3つの「作業タイプ」(詳細は次回以降)

①「要点をまとめる」タイプ “～の特徴を説明しなさい”

文章を読んで、論点を抽出・整理する
視点を定めて、集めた情報を再構成する

②「根拠をあげて主張する」タイプ “～についてあなたの意見を述べなさい”

意見を述べるときは、必ず根拠を示す
根拠と意見を論理的につなぐ——「AだからB、よってC」

③「異なる意見を検討する」タイプ “～について論じなさい”

意見を述べるときは、異なる意見の可能性も検討する
複数意見の比較検討により、自説の説得力が増す

★ワーク

・具体的な課題について、求められる「作業タイプ」(の組み合わせ)を考えてみよう。

★ワーク

・例文を読み、レポートの文章として「おかしなところ」はどこか考えてみよう。

レポート課題文の実例

1. 我が国の介護制度について論ぜよ。
2. TPP 問題についての君自身の賛否とその理由について述べなさい。
3. 最近の企業不祥事に必ず言及したうえで、背任罪の動向について論じなさい。
4. 企業統治、企業倫理からみたオリンパス事件について自分の意見を述べなさい。
5. 欧州金融危機の基本的原因と今後の世界及び日本経済に与える影響について述べよ。
6. 森鷗外『山椒大夫』を読み、説教節『さんせう太夫』との違いについて述べなさい。
7. 『平成 22 年度版犯罪白書』の 36 ページを読んで重大事犯者の処遇について論じなさい。
8. 『菅原伝授手習鑑』寺子屋の段における身代わりにはどのような特徴があるか述べなさい。
9. 21 世紀以降の航空産業の変化が、旅行産業に及ぼしている影響を 3 点にまとめ説明しなさい。
10. 逸脱行動に関する主要な学説を要約した上で、現代日本の少年非行の特徴について論じなさい。
11. 「東日本大震災」（福島原発事故を含む）がこれからの日本社会に及ぼすと思われる影響のなかから 3 点を選び、その理由を述べなさい。
12. ナショナリズム研究における「近代主義」と「原初主義」の違いを説明したうえで、現代日本のナショナリズムの特徴について論じなさい。
13. 『観光庁宿泊旅行統計調査、国籍別集計』をみて、2010 年と 2011 年の 7～9 月の実績から重要と思われる事項を 4 点にまとめ説明しなさい。
14. 損害賠償における過失責任から無過失責任への流れについて記述した後、東日本大震災における東京電力の賠償責任についてあなたの考えを述べなさい。
15. 「環境と倫理」に関するテーマからひとつを選び、それに関連する文献を少なくとも 1 冊以上読んだ上で、それを踏まえながら自分の意見を論理的、客観的に論述しなさい。
16. 学校は児童生徒が教育を受けるための施設であり、そのため安全であることが求められる。このことを踏まえ、児童生徒の安全及び健康を保持する上で、課題を思われることを挙げ、その解決のために何をすることが必要か、自分の考えを述べなさい。

(帝京大学八王子キャンパスの過去のレポート課題より。一部加工)

“悪い” レポートの例文

子どもとメディア

テレビ、DVD、ゲーム、携帯電話、インターネット、漫画、音楽…。現代の子供たちのまわりには実に多彩なメディアがあふれています。

例えば、テレビ・DVDについては、一歳前からの視聴開始が48%、三歳児の27%が4時間以上視聴。二歳ぐらいで操作することを覚え、自分からお気に入りの番組やDVDを繰り返し、長時間にわたって視聴するのである。

また、就学前の幼児がいる家庭のテレビゲーム保有率も6割前後になっているという。脳の神経回路形成にとって重要な時期に、強烈な光刺激と機械音を長時間浴びせられるのです。

また、中学生や高校生はみな自分専用の個室をもち、テレビやゲーム機器を置いている。そして親たちはわが子がそれをどのように利用しているか把握できていない。z

このように小さいころからメディアに取り囲まれた環境で過ごすうちに、外遊びの時間が減り、体力の低下など身体的な発達への影響は避けられない。また集団での遊びの経験がないので、コミュニケーション能力が発達しない。さらにメディアの中の仮想現実（バーチャル）の世界にのめり込んで、現実との混同が起きたり、生命や身体に対する感覚がおかしくなっています。猫をいじめて動画に投稿して面白がる人がいたという話を聞いたときには、私はショックと憤りで涙が止まりませんでした。

以上でみたように、学校でいじめが起きたり、友達ができずに孤立したり、就職活動が上手くいかなかったり、ニートになる原因は、小さいころからのメディア漬けにある。

私は、子供をメディアの悪影響から守るために、もっと自然の中で人と触れ合えるようにするべきだと思います。

最後に、先生の授業は毎回とても分かりやすく、大変勉強になりました。これからも、こういう問題をずっと考えていきたいです。